

## 第 309 回 昭和の森自然観察会

### 秋の虫となかよくなろう

藤田浩二（茂原市）

日 時：9月10日（日）13時～15時 天候：晴れ  
参加者：44名（子ども22名、大人22名）、指導員9名  
担当指導員：山田益弘、藤田浩二

天候不順が続くなか、幸いにも晴天となり、気温も30℃近くなつたなかでの開始となりました。観察のエリアは、低年齢の子どもも多いことから、開会式場所から近い場所で、前半は草丈の短いエリア、後半は草丈の長いエリアの、固定した二ヶ所のエリアで「ゆっくり」「じっくり」観察しました。

参加者が捕獲した生き物の同定については、スタッフが解答することにより参加者が受身側とならないように、スタッフが用意した資料や、スタッフがその生き物の特徴に気づくように解説したり、質問に対応しながら、極力参加者自身で同定してもらうように心がけました。種を確認した生き物は、随時ボードに記入し、ふりかえりで35種類であったこと確認しました。

また、子ども達全員参加で、捕獲したバッタ類の飛翔力を競う「バッタリンピック」を行い盛り上がりました。上位入賞はクルマバッタとクルマバッタモドキの独占でした。

ハチなどの注意事項を説明して開始です



大物を捕まえると、皆が集まって観察です



草丈の長い場所にはどんな昆虫がいるかな



見つけた昆虫を確認して終了しました

